

今回は、家庭クラブの活動に関する報告です。

◇ せきの未来・社会貢献プロジェクト ～持続可能な農業をめざして～

本校家庭クラブでは、JAめぐみの、農業生産法人PLUS株式会社と連携し、食料自給率向上や環境保全等、地域の農業をめぐる課題解決を図るため、農作物の地産地消を推進しています。

今年で3年目を迎えるこの活動は、関市が推進する「せきの未来・社会貢献プロジェクト」の認定を受けています。このプロジェクトは、関市の事業所と非営利団体とが協力し、ビジネスと社会貢献の両立を推進する試みです。ビジネスとして成り立たせることによって、持続性のある社会貢献を実践していこうという点が、従来のCSR（企業の社会貢献）と大きく異なる点と言えます。

本校家庭クラブは、この活動を行うために「SEKI米粉倶楽部」を立ち上げ、農水省管轄の「フード・アクション・ニッポン」の推進パートナーにも登録しています。今後も、米粉と地元野菜を用いた料理のレシピ開発・認知、普及活動を継続的に実施する予定です。

さらに今年は、2年生全員がFRH活動のテーマとして「食と農のSDGs」の問題に取り組みます。今年は感染症対策のため、例年のようなグループ活動やフィールドワークは原則行いません。個人を軸として、「地産地消」「環境保全」「農福連携」「高齢者・女性の社会参加促進」「アグリツーリズム」「持続可能な地域経済」等、SDGsに沿ったテーマを設定し、研究を行う予定です。

◇ 研究補助の授与式

日時： 2020年6月30日(火) 16:40～

場所： 関高等学校校長室

参加者： JAめぐみの 農業生産法人PLUS 関市商工課

関高等学校家庭クラブ委員代表 関係職員

JAめぐみの・とれたた広場の佐合様、農業生産法人PLUSの三輪様、関市商工課の松田様をお迎えし、研究補助の授与式を行いました。夏季課題の地産地消レシピコンテストへの補助として、JAめぐみの・とれたた広場より購入補助券(500円分)を、PLUSより米粉の現物支給を授与していただき、代表生徒がお礼のあいさつを述べました。

代表生徒は、次年度8月のホームプロジェクトコンクール(全国高等学校クラブ連盟主催、会場：徳島県)に参加予定であり、今年度、さらに研究内容を深めていきます。具体的には、家庭クラブの新たな活動として以下の2点を実施する旨、関係団体の代表の方々に授与式の場でお伝えしました。



○地産地消の活動をさらに地域に浸透させるため、例年行っているレシピコンテストに、「一般の部」を設け、地域の方々にも関心をもっていただく。

○食物アレルギーに関する正しい知識を学び、おたがいを認め合い、誰もが安心して過ごせる社会をめざす活動を展開する。

家庭クラブが行うSEKI米粉倶楽部の活動は、FRH活動の一環としても実践し、活動報告はこの「FRH情報」でも随時お知らせいたします。

